

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第10回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成26年9月19日(金) 午後2時00分～午後4時00分
開 催 場 所	301会議室(武蔵村山市役所3階)
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々委員(会長)、布田委員(副会長)、志茂委員、乙幡委員、増田委員、大友委員、齊藤委員、藤沢委員 欠席者：篠崎委員、安彦委員、小幡委員、染谷委員 事務局：田代子ども家庭担当部長、乙幡保育課長、河野児童担当課長、古川保育グループ主査、佐藤保育グループ囑託員
議 題	議題 (1) 前回会議での意見等について (2) (仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1. 前回会議での意見等について ・校内研究奨励事業について、平成25年度の実績を一覧にまとめ次回会議で提示。 ・保育所等の事故対策について、小学校、中学校なども併せて、次回会議で提示。 議題2. (仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について 第1章 ・特に意見はなかった。 第2章 ・修正箇所一覧2ページのNo. 16と17の「学童クラブ利用量」の開始時刻及び終了時刻の一桁台の時間の取扱いについて調整を図る。 第3章 ・修正箇所一覧3ページのNo. 24について、資料5の61ページの「地域の子育て支援の減少」という表現を修正する。 ・修正箇所一覧3ページのNo. 31について、意見内容を再確認し、資料5の64ページの「児童虐待の防止」の文言を修正する。 ・修正箇所一覧4ページのNo. 36について、資料5の68ページの項目番号101「幼稚園、保育所及び小学校との連携」を「幼稚園・保育所等と小学校との連携」に修正する。 第4章 ・意見一覧1ページのNo. 1: 資料5の87ページの93項「市立学校校内研究奨励事業」の昨年度と今年度の研究課題について確認する。 ・修正箇所一覧6ページのNo. 64について、資料5の93ページの項目番号119「スクールガード・リーダーの設置」の事業内容をわかりやすく整理する。 ・資料5の107ページの(3)計画の見直しの「5か年計画」表現と7ページの「3 計画の期間」についてどちらかに統一を図る。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開会  ○佐々会長よりあいさつ。  (佐々会長) 会議を進めていく上で、皆さまのお考えが必要です。しっかり資料を読み、また説明を聞いて、進めたいと思いますので、よろしくお願ひしたい。

## 2 報告

### (1) 第9回子ども・子育て会議の会議録について

○事務局より、第9回子ども・子育て会議の会議録について説明が行われた。※資料1

(事務局) 修正等があれば9月26日(金)までに事務局へ連絡頂きたい。

## 3 議題

### (1) 前回会議での意見等について

○事務局より、前回会議での意見等について説明が行われた。  
※資料2、資料5

#### 【質疑応答】

(委員) 資料2のページ数は今回配られた資料5のページに該当する  
のか。

(事務局) その通りである。

(委員) 資料2の1「項目番号92 校内研究奨励事業」の研究課題は、  
中学校にもあるのか。また第七小学校と第九小学校だけが独自の  
研究課題を持っていて、他の学校はないのか。

(事務局) 中学校の方も教育研究会奨励事業が実施されている。

(佐々会長) 前回会議では、研究課題を全部出すのは大変だとい  
うことだったが、小学校や中学校の義務教育年齢のところは、奨  
励費をもらって奨励事業になっているということだったので、  
どこの学校でどういったことをやっているのか、その中身の詳  
細を回答して欲しいということだった。計画に盛り込むかどう  
かは別として、内容がわかった方がいい。中学校では今どんな  
ことが課題になっているかが見えてくるので、回答をお願いし  
たい。

(事務局) 中学校では保健部会や特別支援部会、国語部会、社会部  
会、数学部会、理科部会などと、いくつも部会が分かれていて、  
その中で参加する中学校が何校かある。すべてを列記するのは  
困難だが、代表的なものを抽出して、小学校・中学校ともに次  
回会議で提示したい。

(佐々会長) 抽出でいいかどうか。中学校教育は各教科に分かれて  
いるが、それでも発達支援の人たちや特別支援教育を受けてい  
る学級の子どもたちなどもある。普通学級でも様々な子どもた  
ちがいるので、どういった部会があるのか、また、どのような  
研修が行われているのかということについては、示してもらい  
たい。

(事務局) 平成25年度の校内研究奨励事業の実績を一覧でまとめ、  
次回の会議で提出する。

(佐々会長) 資料2の6について、養育家庭は1件ということだが、里親はこんなに少ないものなのか。武蔵村山市くらいの規模の自治体ではこの程度の実績なのか。いままでずっと1件程度で推移しているのか。

(委員) 7、8年前だと、立川市の児童相談所が管轄する、立川・昭島・西多摩のかなり大きな規模の地域で、20家庭くらいだった。その時の情報だと、武蔵村山市は1家庭もしくは0ということだった。東京都は養育家庭の増加のための活動を実施しているが、1家庭もしくは0が長年続いている状況だと思う。

(佐々会長) 東京都は推奨している。

(委員) 小平児童相談所で武蔵村山市も管轄している。正確な数字ではないが、小平児童相談所の管轄する9つの市全部を合わせても養育家庭は30家庭くらいだったと思う。養育家庭を1件でも増やしたいという方針はあるが、なかなか現実的には難しい。ただ、1件でも多くの方に養育家庭になっていただけるように、各市の子ども家庭支援センターとも協力して養育家庭の経験者による発表会等を毎年実施している。

(佐々会長) 資料2の9「保育所等の事故対策」について、確認中ということだが、小中学校や学童などにまで広げて確認して頂きたい。

(委員) 計画に記載するかは別として、どういう状況なのか、委員の皆さんが気になっていることだ。保育所等の事故対策がどうなのか、まだ確認中というのはどうなのか。

(佐々会長) 事故のレベルをどう捉えるのかによって違ってくるかもしれない。軽微なもの大きなものがある。今後の安全対策の講じ方が違ってくるので、次の会議には資料を間に合わせていただきたい。

(事務局) 次回会議に間に合うよう努める。

(2) (仮称) 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について  
※資料3、資料4、資料5

・第1章「計画の概要」、第2章「子ども・子育てに関する現状等」について

○事務局より、第1章「計画の概要」及び第2章「子ども・子育てに関する現状等」について、意見に基づく修正の説明があった。

**【質疑応答】**

(委員) 資料5の41ページの学童クラブ利用量の開始時刻や終了時刻に「2時」や「3時」や「6時」など一桁の時間の数字があるが、これはどういったことか。

(事務局) アンケート調査票から回答いただいたものをそのまま記載した。午前と午後を勘違いして回答されたのではないかと思

う。時間の取扱いについて、事業計画に記載するにあたっては誤解を招く部分もあるので、実体上おかしい数字についてはその他というカテゴリに入れるなど、調整を図る。

(佐々会長) アンケートに記載されたものをそのまま捉えていいのかどうかは難しい。希望時間であれば、その時間にあるのなら預けたいという思いもあるのかもしれない。保護者の勤務時間帯によっては、早朝や深夜に預けたいという希望があるかもしれない。数値の問題はむずかしい。改ざんに見えてしまうことは避けなければならない。保護者が寄せた回答をこちらが読み替えてしまうということは避けたい。

(事務局) ご意見を踏まえ、検討させていただく。

・第3章「計画の基本的な考え方」について

○事務局より、第3章「計画の基本的な考え方」について、意見に基づく修正の説明があった。

【質疑応答】

(委員) 資料5の63ページの「基本目標4 子育てを支援する安全・安心な生活環境の整備」の文末で「～推進に努める」とあるが、前回の資料では「～進めます」になっている。ここも修正箇所なのではないか。また、資料2の4ページのNo. 39で追加した新規事業を記載しているが、資料5の70ページの項目番号145・146が網掛けになっている。この二つも追加した事業ではないか。

(事務局) 資料5の63ページの基本目標4の文末の修正箇所を資料3の修正一覧に記載漏れしていた。また、資料5の70ページの項目番号145・146の事業は、名称が変更になったもので、追加事業というわけではない。名称変更の説明が不足していた。

(委員) 資料5の68ページの項目番号101「幼稚園、保育所及び小学校との連携」について、うまく表現できていないのではないか。この内容は、「幼稚園・保育所」と「小学校」との連携だと思うが、その辺りをわかりやすく表現していただきたい。

(事務局) 幼稚園と小学校、保育所と小学校という連携をどう表現するか。「幼稚園、保育所」ではなく「幼稚園・保育所」にしてはどうか。

(委員) 「～及び小学校」もおかしいのではないか。「幼稚園・保育所と小学校との連携」の方がよい。

(事務局) 「幼稚園・保育所と小学校との連携」と修正する。

(佐々会長) 資料5の64ページの基本目標⑤「支援が必要な子どもと家庭への取り組みの推進」の施策の体系「児童虐待の防止」について、資料3の3ページNo. 31の前の意見等で「防止」を入れないのかという意見に対し、「児童虐待の防止」と修正されたが、今度は「推進」の文言が落ちている。他の施策の体系では「～の支援」や「～の充実」といった文言になっているので、前回の意見の意図としては、「児童虐待対策の推進」のな

かに「防止」という語句を入れて欲しいということではないか。

(事務局) 意見内容を確認し、「児童虐待防止施策の推進」といったような表現に修正する。

(佐々会長) 資料5の61ページに「地域の子育て支援の減少」とあるが、これはいままであったものが、減っていく傾向にあるというふうに捉えられる。「減少」というと、以前は子育て支援があったのに、地域の力が弱くなって、支援が弱体化したという意味合いにとれる。次世代育成計画の十年間のなかで、地域の力を借りながらファミリー・サポート・センター事業等の子育て支援を実施してきた。今の現況として「核家族化」や「教育費の負担」はデータとして事実だが、「地域の子育て負担の減少」はいかがなものか。

(事務局) 子育て環境に限らず、40年くらい前に比べるとコミュニティが希薄になっていて、隣近所での子育ての助け合いが少なくなってきたという意味で、「地域の子育て支援の減少」と表記した。なにかいい表現などがあれば、ご意見をいただきたい。

(佐々会長) 「地域の子育て支援の減少」を40年前と比較するのはいかがなものか。ここ十年くらいは次世代育成支援行動計画を地域の方々の力を借りながら推進してきたと思うので、並列的に「地域の子育て支援の減少」を置くのは強い言い方なのではないか。今すぐは代替案を思いつかないので、ここの表現はペンディングにしていきたい。

(委員) たとえば「地域コミュニティの希薄化」といったような表現を考えさせていただきたい。

(佐々会長) 地域コミュニティということがうまく納得できるような用語でなくてはいけない。基本理念の「家族ぐるみ 地域ぐるみ 子育て環境づくり」と直に繋がってくる中身になるので、もう少し工夫が必要だと思う。

(事務局) 地域のお力を借りて子育て支援が推進している部分もあるので、「地域の子育て支援の減少」という文言については再考させていただきたい。

(佐々会長) 扉にあたる重要な部分なので、行数などの制限に関係なく、今の武蔵村山市の現況を伝えるためによろしい文言を考えていただきたい。

- ・第4章「計画の内容」、第5章「計画の推進体制」について  
○事務局より、第4章「計画の内容」及び第5章「計画の推進体制」について、意見に基づく修正の説明があった。

**【質疑応答】**

(委員) 資料5の93ページの項目番号119「スクールガード・リーダーの設置」の事業内容について、文章が一つに繋がっていてわかりにくいので、二つに分けたらどうか。

(事務局) わかりやすい表現に改める。

(佐々会長) 資料5の107ページの「(3) 計画の見直し」で「5か年計画」とあるが、7ページでは計画の期間を後期計画と合わせて10年と記載している。「5か年計画」でいいのか。

(事務局) 子ども・子育て支援法では5か年計画と表記されていたので、ここでは5か年で内容を示させていただいた。現在の次世代育成支援行動計画は前期・後期の10年間で行っていたので、今回の子ども・子育て支援事業計画も5年経ったら、また同様の計画を策定することが想定される。誤解を招く恐れがあるので、7ページと107ページのいずれかの表現に統一して修正したい。

(佐々会長) もういちど整理して見ていただきたい。

(事務局) 国による子ども・子育て支援計画と今後の通知を踏まえ、より適切な表現・内容の統一を図っていきたい。

(委員) 資料5の107ページ(1) 庁内体制の整備に「全庁あげて施策を推進」とあり、108ページ(1) 市民との共同体制の推進に「民間団体等との連携を図る」とあるが、民間団体としては行政の横割りや縦割りの体制の壁に当たってうまくいかないことが多々ある。そういったことが5年の間にうまくいくようになるのか。今年度、子育て施設が一つなくなったが、新規事業を含め、この計画に掲げたことを全庁あげて全ての協力体制を本当に得られるならいいが、このように言い切ってもよいものか。

(事務局) ご意見を重く受け止めたい。どうしてもセクションが異なるとうまく施策を展開できない部分がある。武蔵村山市に限らず、子育て支援は国の最重要課題といわれているので、こういったことを言葉にして掲げ、少しでも全庁をあげて施策が推進できるように努めていきたい。そういった意味を込めて、このような文言を掲げることをご理解いただきたい。

(佐々会長) 資料5の107ページ(2) 計画の進行管理に「達成状況を点検・評価していく」とある。平成31年度までの一年ごとに、毎年度公表しながら実施していくと掲げているので、どの事業が進み、どの事業が停滞しているのかということについて、明確にされると思う。庁内に設置された「武蔵村山市子ども・子育て支援事業検討委員会」で目標事業量をしっかり出しながら、各年度の実施状況を把握・点検し、そこで出されたものについて、「子ども・子育て会議」で第三者評価し、その内容を公表するという事となる。厳しい進行管理となると思うが、そのことについて「全庁あげて」という覚悟の程をこの文言で出してもらったと思う。市民もまた計画の進捗状況をしっかり見定める必要がある。

#### 4 その他

(委員) 限られた時間のなかでここまで来たが、各方面から委員が

	<p>集まっているのに学童や病後児保育など実際に保護者の方が感じているようなところが出てきていない。これから検証していかなければいけない部分もあるが、後々、いろいろな意見をどこかで表現してほしい。</p> <p>(佐々会長) 会議のなかのその時々で意見を出していただいているが、疑問に思われる部分があるなら、全体のなかで各委員の方はもう一度資料を読み込んで、修正箇所や意見等を出していただきたい。</p> <p>(事務局) 9月25日までに事務局に意見を提出していただきたい。</p> <p>(佐々会長) 今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(事務局) 11月にパブリックコメントとして、HPなどに資料を公開して1ヶ月間市民の方々から意見を募りたいと考えている。その意見を元に原案を修正し、12月から来年1月にかけて事業計画の検討を行い、その後、2月に事業計画の市長への答申を行いたいと考えている。</p> <p>○事務局より、次回開催日程について連絡</p> <p>(事務局) 次回は10月6日(月)10時から開催したい。</p> <p>5 閉会</p>
--	--

配 布 資 料	<p>○第9回子ども・子育て会議の会議録・・・・・・・・・・・・・・・・資料1</p> <p>○(仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画(案)に対する意見等一覧・・資料2</p> <p>○(仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画(案)主な修正箇所・・・・資料3</p> <p>○新規に掲載する事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・資料4</p> <p>○(仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画(案)・・・・・・・・資料5</p>
---------	--

会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>公 開 傍聴者： 2 人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非 公 開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>開 示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/>非 開 示(根拠法令等： )</p>
--------------	--

庶 務 担 当 課	健康福祉部 保育課 (内線：182)
-----------	--------------------

(日本工業規格A列4番)